

皆さま、こんにちは。2025 年 7 月のレポートをお届けします。
今月は、MBA 生活の集大成となる卒業式が行われました。卒業式の様子とあわせて MBA 全体を振り返ってご報告いたします。

○ MBA 卒業式

7 月は留學生活の集大成である「卒業式」が開催されました。7 月中旬、マドリードの IE キャンパス内で行われた式には、世界各国から集まったクラスメイトとその家族、そして教授陣が出席し、会場は祝福と喜びに包まれました。入学式と同じ会場で、卒業証書を受け取る瞬間は、やり切ったと大変感慨深いものがありました。

卒業式の後には、多くのクラスメイトと最後の時間を過ごしました。異なる国や文化の背景を持ちながらも、共に学び、困難を乗り越えてきた仲間は、自分にとってかけがえのない存在です。それぞれが異なる国・キャリアへと進んでいきますが、世界中に友人やネットワークを築けたことは、一生の財産になると強く感じています。

○ MBA 全体を振り返っての総括

MBA 全体を振り返ると、知識やスキルの習得にとどまらず、学びを「実務」と結びつけて考えられたことが大きな成果でした。社会人としての経験を経ていたからこそ、授業での理論を実際のビジネスに照らし合わせたり、議論の中で現場感を持ち込んだりすることができました。単なるアカデミックな学習ではなく、実務に接続しながら思考を深められたのは、自分にとって大きな強みになったと感じます。

また、世界中から集まったビジネスパーソンと英語でぶつかり合いながらプロジェクトを進める中で、「異質性の中でどう合意形成し、推進力を発揮するか」を体感的に学びました。文化も価値観も異なる仲間と衝突しながらも一つの成果を出す過程は、精神的なタフさを培い、どのような環境でも前に進める自信を与えてくれました。

さらに、この年齢で日本でのキャリアを一時中断して MBA に挑戦することは、大きな決断でした。リスクも背負いながら、実際に挑戦し、やり遂げられたことは大きな自信となり自分にとって人生の転換期になったと確信しています。

今後は、この経験をさらに活かして、日本と世界をつなぐ架け橋となり、グローバルに活躍できるビジネスパーソンになっていきたいと考えています。



Graduation Ceremony